

1. 件名：京都大学複合原子力科学研究所の保安規定変更承認申請に係るヒアリング（3）

2. 日時：令和5年10月4日（水） 13：15～14：30

3. 場所：原子力規制庁10階会議卓A
※本面談は、テレビ会議システムで実施

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

加藤上席安全審査官、小舞管理官補佐、伊藤主任安全審査官、

島村主任安全審査官、荒井安全審査専門職、加藤試験炉係長、

篠田試験炉係長

京都大学複合原子力科学研究所

教授 他4名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料1：京都大学原子炉施設保安規定の変更申請について【指摘事項回答】

資料2：京都大学研究用原子炉（KUR）高経年化に関する評価に基づく長期施設管理方針の策定について【指摘事項回答】

資料3：京都大学臨界実験装置（KUCA）高経年化に関する評価に基づく長期施設管理方針の策定について【指摘事項回答】

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	時間になりましたので本日のヒアリング、規制庁の加藤です。お時間になりましたので本日のヒアリング始めさせていただきたいと思います。
0:00:14	本日のヒアリングですけれども、前回審査最高の方で、規制庁側からご出席させていただきますと内容につきまして資料の方に追加や修正していただいておりますので、
0:00:28	まず最初は変更点のご説明をお願いできますでしょうか。
0:00:33	はい京都大学の堀でございます。よろしくお願いいいたします。それでは私の方から資料の変更点を説明させていただきたいと思います。まず資料の構成は前回と同様に3個あり、三部構成になっておりまして、
0:00:47	資料の1-1の中では、以前いただいたコメントとそれに対する対応のリストを載せた上で、全体のことを述べております。それでは1-1から説明申し上げます。まず2ページでございますけれどもこちらの指摘事項を離職率としまして、いただいた指摘事項を簡単に
0:01:07	ご説明しますと、まずクラス分けについて、黒須さんの機器について、これを対象としてどうかどうなのかという話がありまして、これ内部でですね検討しまして、試験炉ガイドに書いてある文言等を考慮しまして、あらかじめですね保身的後、
0:01:27	適切性評価の対象からですね、クラス3の機器を外すという方針に、評価フローを修正させていただきました。また2番目のご指摘ではですね多量の放射性物質を放出する事項の拡大防止のための設備、これを考慮すべきではないかというご指摘いただきましたので、
0:01:43	こちらは添選定のフローの中でですね、そういったものを取り込むように、フローを修正させていただきます。三番品証体制と関連部署についての記載もですね、資料1-1の6ページの方に記載、追記させていただきました。
0:01:58	またですねその点検補修の点検内容の定めか差別定め方について、こういったところもですね、12ページの資料の1-2の12ページのほうに追記させていただいております。
0:02:12	また高経年化で対象の選定についてですね、補修更新が可能なものを除外しているということで、これはどのような報道を実施しているかについては予防保全という言葉です。
0:02:23	明記してございます。それから6番目のご指摘でこれはアルミニウム合金の先行と、炉心タンクの選考を上げたというところで、これはKURの特徴を踏まえてというふうに、以前の資料で書かせていただいたんですけども、言葉が適切ではなかったということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:39	こちらですね、最終的に炉心タンクの先行を選んでいるのは長期施設管理方針の立案段階で考慮しているということなので、そちらではそういう言葉を使っておりますが、18 ページ 19 ページの方の用語の修正しております。
0:02:54	17 ページ、中性化深さのことですがこのばらつきについてですね、これはばらつきがちゆん生じた理由についての説明というものを、1024 ページの方で追記しております。
0:03:05	生体遮へいもですね
0:03:07	本多所の中性化深さについてですね、定量的な議論を追加して欲しいというコメントがありましたので、これ中性化速度式の、によるですね中性化深さの算出について、申し上げたりというものを考慮した推定値ということで、
0:03:22	再計算をさせていただきました。これは 25 ページに示しております。また種々中性子照射脆化についてですね、これは引張強さの変化ではちょっと議論としてどうかという指摘がありましたので、これちょっと適切な文献をですね、別でありまして、そちらを利用して説明しておりますこれは 20 ページになります。
0:03:41	あと全体構造図ですね天井が、記載されていないという点こちら修正させていただきました。それから 11 番目でございますが、これ炉心タンクの先行についてですね。
0:03:53	メカニズムについては追記をして対応しております。12 番目のコメントでございますがこれは図 1 遮へい能力低下の評価のところでございますこれも定量的な評価を、
0:04:05	するようにということでございましたので温度上昇を評価して、それを 27 ページ反映させております。13 番目のコメントこちらはですね、この長期施設管理方針を策定した後に技術評価書を作成するというのは、
0:04:21	正しいのではないかというコメントいただきました。それ、それを所評価フローの方で変更させていただきました。14 番目のコメントでございます。これは損なわれると想定してる安全機能ですね。
0:04:33	表に追記するという対応しております。15 ページ 15 番目のコメント、こちらはですね、腐食を、腐食による穿孔をですね。
0:04:43	見つける方法として適切な方法であることを示してもらいたいということでしたので、そちらの説明 21 ページに追記しております。あと 1617 についてはですね、補足説明として、ご指摘いただいた点について資料に反映してございます。
0:04:59	次の 5、5 ページはそのまま変更ございませんで、6 ページ参ります。こちらはですね実施体制のところ、品質品質マネジメント体制及び関連文書としてですね、赤字の修正をさせていただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:13	こちらは記載の通りでございます。次にですね経年劣化に関する評価フローのところでございますが、ここを大きく変えておりまして、まず初めに安全 10 重要度が安全機能を有するものと、
0:05:29	あとはBeyondDBA対応の常設常設設備というものを最初にまず候補として挙げて、そこからクラス 3 のものを、方向方向後稲井福田さんのものをですね。
0:05:41	除外した後に保全適切評価と、高経年評価、これ並行して行くと。このような流れに修正しております。またですね評価対象外となったものについてもですね、右側のところ矢印を追加してまして。
0:05:57	すべて対象外となったものは一般的な点検補修で対応と、それで高経年化評価の対象外となったものでも、施設の特徴を踏まえて考慮が必要としたものについては、技術評価書における、
0:06:10	長期施設管理方針の立案に反映して、その立案の結果、長期施設管理法上策定すると、その際には審査と承認というプロセスを経るという、こういったような追記をしてございます。
0:06:22	まず資料 1-1 の説明は以上でございます。続きまして資料 1-2 のところで変更点をご説明申し上げます。まず初めに 2 ページでございますが、こちら炉心タンクのですね情報を追記いたしましたこちらの厚さの厚さの情報と、それから大きさの情報を追記して、
0:06:41	いずれも圧力がですね水頭圧であるということと、それからあとですね温度についての情報は、冷却材のところに定格運転時の一次冷却するように 55 度以下という、
0:06:53	追求してございます。次 3 ページでございますが、こちらの施設の概要の中で、対応の放射性物質等を放出する事項の拡大防止のための常設設備として、取水設備等 40 トン。
0:07:06	水タンクの説明を追記してございます。次の 4 ページについてはですねちょっと天井のある図面に差し替えてございます。それから 5 ページでございます。こちらはですね先ほど申しました、桜田さんの企業の増加側ごめんなさい除くということと、
0:07:24	それからですね先ほどのBeyondDBAの常設設備というのを追記してございます。また予防保全の観点からという文言を追記してございます。次に 6 ページ以降でございますが 6 ページが 7 ページ、このところですね
0:07:40	腐食がないことというのと減肉しないことこれがちょっと混在してるというご指摘もありましたので、減肉がないことをもって腐食がないことを確認というふうに用語を統一しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:51	それから 8 ページ以降についてはですねこれ黒須さんなので、審査会合の時にはですね削除しようと思っておりますが、一応削除予定のページについてはバツつけておりますこれが 11 ページまで続きます。次に 12 ページでございますが、
0:08:06	こちらの取水設備と 40 トン水タンクについての調査結果を追記してございます。またそれらの所管理がどのように行われてるかということ、4 行にわたって文章を追加しております。これも今後予防保全の観点からということを追記しております。次に 13 ページでございます。こちらもクラスターの
0:08:26	ところで、除くということを追記しております。それからですね次の 14 ページをそのままでございますが、多分対象外ということをおのま 1 と 2 二つの理由で対象外としてたんですけど。
0:08:39	今回はこの評価の対象外とする理由は一つでございますので、①②は外しております。米印でですね対象外とする根拠については、
0:08:49	17 ページの方に記載しております。なお 15 ページ 16 ページは、クラス 3 なので、削除予定でございます。それから次に 18 ページに参ります。18 ページはですね、工事用のちょっと考慮すべき経年劣化事象と書かれていたのを、ちょっと要望で統一するという事で高経年化対策蒸着。
0:09:09	すべき直しております。それからですねここに活動に示したような、ちょっと用語の変更しております。それから 19 ページでございますが、これ経営の特徴を踏まえたと言ったものを、腐食の劣化を加速劣化要因とするというふうに変更をさせていただきます。
0:09:25	次に 20、20 ページでございますこれ注射中性子照射脆化についてはですね、引用文献を新たに探しまして、限界値が 1 掛け 10 の 22 条に対して 1.9 拡充の 21 条は、
0:09:40	十分小さいと、このような説明に直してございます。で、文献も追加しております。それから、次の 21 ページですけども、炉心タンクの経年劣化事象もメカニズムということで、
0:09:52	これは内面と外面から腐食する可能性があるかと、内面はどうか、外面はどうかという説明を追加してまして、それを品質手段として、
0:10:03	この方法で、問題はないと考えているところを、説明を追記してございます。それから 20、13。
0:10:14	ページですね、23 ページのところではですね、そういう、そこのある恐れのある気中、ごめんなさい、木、安全機能ということで、
0:10:24	それぞれの機器に対しての安全機能を追記してございます。次に 24 ページでございますこれはばらつきのことについてですね、コメントを筑紫さんにつけてありまして、まずこの測定方法は釣り糸コアの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:40	測定方法でこういったバランスが生じているんだということを追記しております。25 ページでございますこれは仕上げをですね考慮した新たな評価結果ということで、
0:10:51	表の値も変更してございますってこれで見るとですね、いずれもかぶり厚さよりも小さい値になっているということでございまして、そのように影響を受けております。
0:11:05	それから次のページは変更ございません。27 ページですね、こちら遮へい能力低下については、温度評価の記載を追加してまして。
0:11:15	次、実際現実的なですね最大連続運転条件で、温度上昇は約 13 度と見積もったということで、これはですね文献に示されている制限値に比べて十分低い値となっているということを確認したと。
0:11:29	このように、述べております。変更で資料 2-1 の変更という、以上でございます。
0:11:37	はい。続きまして資料 1-3 についてご説明させていただきます。今日大学の喜多村でございます。警視につきましては大きな変更で 2 点でございます一つはフローが変わっておりますので、孔口扱いのレベル 3 機器を落とすということでございますがこれは PR 等、
0:11:54	同様でございますので割愛させていただきます。もう 1 点は中性化のところでした、資料 1-3 の 22 ページをお願いいたします。
0:12:02	こちらの方についてはですね実測値を持って用いたルート形式を併記してはどうかというコメントをちょうだいしておりますので、それに沿った後変更をさせていただいております。
0:12:14	すなわち評価点のところ木下錦織阿比留って意識っていうのが入っております。
0:12:20	あとですね経営評価の結果を表を見ますと二つ目のポチのところですね、A、
0:12:30	実は平均値は
0:12:33	鈍化していると。
0:12:36	それで
0:12:39	ルートT式を用いますと久野式よりも大きく、結果、大きな結果を与えておりますが、まず奥田についてですけども、神楽坂十分機能では問題ないと。
0:12:50	それから 2.5 億については、当初から借財施行しておりましたので、基本式については、仕上げ材を考慮した計算結果に改めております。その上でルート知識の結果と比べますとほぼ同じ。
0:13:04	結果となっております、かぶり厚さ、
0:13:08	それらについても十分大きいと。以上をもちまして今後 10 年経過してもいい安全性は維持されるということを確認したという結論になっております。継承については以上でございますが、はい。
0:13:23	教頭会からの説明以上でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:27	手帳のカトウです。お薦めいただきありがとうございます。それでは、
0:13:33	規制庁側から、
0:13:35	資料につきまして質問等させていただきたいと思います。
0:13:40	まず初めに資料の 1-1 から、
0:13:44	確認させていただきたいと思いますが。
0:13:48	まず一番最初、ヒアリングでの指摘事項。
0:13:53	4 ページ目まで記載していただいているところなんですけれど。
0:13:58	一番最後の 14 から 17 番につきましてヒアリングで追加コメント。
0:14:04	止まっているんですけど、一応こちら会合資料ということになりますので、ヒアリングの追加のところは削除していただければと考えていますけれど、どうでしょうか。
0:14:17	協力の堀でございます。承知いたしました。それでは 14 から 17 と、その下にあるコメントの部分を削除させていただきたいと思います。
0:14:27	町に加藤です。
0:14:30	すいませんちょっと言い方悪かったですけれど、15 についてはちょっと、この後、また質問事項とかもあるので言った、保留にさせていただければと思います。
0:14:41	こちら会合でもお伺いしているところとなりますので、
0:14:45	明確に、
0:14:47	ヒアリングのところで事実確認したのが 104067 だと思いますので、そちらちょっと落としていただければと思います。
0:14:56	規制庁に加藤です。補足ですけれども、この一覧表の中から、コメントとするだけであって、これらのコメントを受けて修正した箇所についてはそのまま 1 ということでお願いいたします。
0:15:12	京都大学の堀です。承知いたしました。
0:15:19	町に加藤です。続きまして資料の 1-1 の、
0:15:24	7 ページになります評価フローについてとなりますが、会合の場におきまして補修更新が容易なものについては予防保全を実施していますというご説明あったかと思うんですけど。
0:15:40	今回、資料 1 の仁科さんの方に追加していただいているんですけど、ちょっとそちらからですと糸賀、
0:15:50	あまり明確に読み取れませんので、ここの評価フローの方に、
0:15:57	具体的に予防保全していますというのを追記していただきたいと考えておりまして、
0:16:04	例えば 7 ページの 3 ポツの高経年化評価の丸 2 のところあるかと思うんですけど、この②のところ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:14	一番最高評価の対象外とするの、この文の下に、注釈とかを入れていただいて、
0:16:23	対象外とする設備については予防保全を実施しているとか、そこら辺ちょっとわかりやすく追記していただくことができますでしょうか。
0:16:33	京都大学の堀です。ご指摘、ご指摘の点承知いたしましたこの日、七番の3ポツの②のところの後に注釈を加えることで対応したいと思います。
0:16:44	引地の方でちょっとここも補足なんですけれども、資料1の2ってあたり1-3で予防線という言葉が入って入っているのはわかるんですけれども具体的には予防保全の観点から、
0:16:59	何々っていうふうになっているだけで、実際今回の対象として除くものが予防保全をきちんとやっているからなんだっていうのが明確にわからないので、
0:17:11	今言った、1-1の評価フローのところ、まず全本としてですね、明確にして欲しいっていう、趣旨でございますのでよろしく願いいたします。
0:17:22	京都大学の堀ですご指摘の通りだと思いますので、そのように対応させていただきます。
0:17:29	町のカウです続きまして資料1-2の方に移らせていただきます。資料1-2の12ページの方になりますけれども、
0:17:40	こちら今回追加していただきました。DBA設備が書かれているところになります
0:17:49	が、
0:17:49	治水設備の方は、2016年に新たに設置とある一方で40トン水タンク。
0:17:57	の方はいつ設置したかっていうのが記載されておりませんので、
0:18:03	引き続き仮設備でどれくらい古さの設備っていうのを明確にするという観点から、40トン水タンクについても、いつ設置したのかっていうのを追求していただきたい。
0:18:16	いうふうに考えていますけれども、できますでしょうか。
0:18:21	京都大学の堀でございますこの40トン水タンクというのは元自主自主的に設けた設備で、そのあと、施行に向けて使用前検査を受けてそこでちょっと1年ほどずれているんですけど何年に設置して、何年に使用前検査を受けてそれ以降、こういった対応しているというふうにご書けばよろしいでしょうか。
0:18:42	浜加藤です。
0:18:45	経年化の評価ですので、
0:18:48	残念に牛山事業者検査、念のためですけど、いつ、使用前事業者検査を受けたかっていう観点ではなくていつ、設備自体を設置したか。
0:18:59	ということについて書いていただければと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:02	承知いたしましたなぜこういう書き方をしたかというこの間管理をこういう形で管理をしているのは 2017 年以降ということだったんですけど、設置年を書くということで、承知いたしました。
0:19:15	町に加藤ですよろしくお願いいいたします。それと同じページになりますけれど、
0:19:22	ページの下部に点検等の実施項目頻度については原子炉、
0:19:27	施設保安規定第 150 条の 3 に基づき策定されるっていうふうにかかれていてかと思えますけれど。
0:19:35	これ、
0:19:36	保安規定を見ればわかるっていうのは、もちろんそうなんですけれど、介護資料で一応出すものとなりますので 103、50 条の 3 っていうのがどのような内容になっているかっていうのを、例えば参考とかとして追記していただきたいと思っているんですけれど。
0:19:54	大丈夫でしょうか。
0:19:57	京都大学の堀でございます。承知いたしました。そのように追記させていただきます。
0:20:03	加藤です。ありがとうございます。
0:20:06	引き続きまして同じく資料 1-2 の 21 ページになりますけれど、
0:20:14	こちらご説明の方、追記していただいたところになりますけれど、
0:20:22	だから、
0:20:24	6 条目ですね、局所的に穿孔が生じることは想定しがたいため、
0:20:31	とあるんですけれど。
0:20:34	どうして想定しがたいのかっていう理由を教えてくださいませんか。
0:20:43	先行って結局局所的な。
0:20:46	減少になるんじゃないかなと考えていますけれど。
0:20:49	今日ちょうど大学の堀でございます。まず腐食が発生する要因としては前の方にも書きましたけれども、例えば炉心タンクの表面からの腐食があると、外から水が回り込んでということになります。そうしますと水がですね局所的に存在するという、いうある程度広がりを持って、
0:21:09	水が入ってきますので、そういった意味で、局所的ではなく、局所的の、局所の意味もあるんですけどピンポイントではなくてある程度面積を持った範囲で潜航が生じるだろうということで、このような書き方をさせていただいた次第です。
0:21:28	井戸の加藤です。ありがとうございます。今ご説明していただいたような内容が、
0:21:34	局所的に変更が生じることは想定。
0:21:39	しがたいための理由になるかと思えますので、今ご説明していただいた点追記していただくことってできますでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:48	京都大学の盛でございます承知いたしました。もう少し詳細に書かせていただきたいと思います。
0:21:54	町に加藤ですよろしく願いいたします。
0:22:03	打ちまして、
0:22:06	ですけれど、
0:22:11	資料 1-2 の 25 ページ。
0:22:16	コンクリートの中性%についてとなります。
0:22:23	今回の評価。
0:22:25	をやり直し、多分その係数とかを見直していただいて、見直していただいて結果として推定値、こういうふうになりました。
0:22:35	ということになるかと思うんですけれど。
0:22:37	原子炉格納施設を見ますと実測値と推定値を比べたときに、実測値の高い値、
0:22:47	推定値を超えているっていうふうになっておりまして、
0:22:51	なおかつこの値について、
0:22:55	生体遮へい、
0:22:57	両方で。
0:23:00	値計算結果評価をし直した結果、大学となってきていますので、
0:23:06	先ほど簡単にご説明はあったかと思うんですけれど、具体的にどのような計算を聞いて評価を実施したのか。
0:23:15	ていうのを教えていただきたいと思っております、
0:23:20	技術評価書の方に評価式入れていますが、今回、例えば今回変えたのはその評価式の関係で、仕上げ材に影響する。
0:23:32	病院だけを変えてきたとか、
0:23:35	少し踏み込んだ説明をお願いいたします。
0:23:40	はい。京都大学のカマエでございます。
0:23:43	えっとですね総務部で今技術評価章ですねこの関係のリファーマンualとして、標準仕様書みたいのが入ってるんですけどちょっと
0:23:53	それはちょっと適切じゃなくてですね実際使ってるのは、建築学会の維持管理指針の解説というものだったので、これは今後、安全、技術評価をお願いする時に修正させていただきます。
0:24:06	それですねその式は久野式なんですけど、その減少箇所がありますように計算式は、
0:24:13	流時いろんなケースがついてる形ですね等、屋外であったり屋内であったりというところで、値が決められてると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:24	ということでこれは実際最終的なその維持管理指針という、ちょっと先ほどリファアーが適切じゃなかったと申しあげましたけど、維持管理指針の中にですね 1.7 倍S 屋内の場合は 1.7 倍。
0:24:37	奥川 1 杯と、等々塗装がなければ 1 都構想があれば、それ塗装とか、伸びてる仕上げとかそういうものによってその補正係数を、
0:24:48	今それは維持管理指針の中に、具体的に詳細に書かれてまして、今回の前回もそれしか使ったんですけど、リファアーが適切でなかったということで今回、
0:24:59	それを見てですねその中で、今回はですねこの前少し
0:25:05	推定と、実測損をですね関係が少し違和感があったので、最終的にはその維持管理指針に従ってですね。
0:25:15	屋内屋外というケースとともにですね、そ塗装があるなしということで、その塗装にも、その者によってその係数が決まっていますので、
0:25:25	そういうものを適切にこの、格納施設等、製材遮へいの、そういうものを資料を見てですね、計算をし直したということで、そういう意味で今回格納施設の推定値が小さくなっているのは、塗装。
0:25:41	の項目を入れてるば 0.6 幾らだったと思うんですけど、そういうものを、を考慮して、した値でございます。それと、成果社員については、同じ環境なんですけど。
0:25:53	角田社長は大森田尾ですねしたうat。立派な耐放射線の塗装してまして、しっかりと塗装してるということでそれは、
0:26:03	モルタルプラス塗装という、これも維持管理指針の中にありまして、0.2 ぐらいなんですけど、ということで、そういう値が出てきたということで前回は、
0:26:14	屋内、屋外、それと東ソーのあるなしという、その 2 局で、非常に大ざっぱに、保守的にということで書きかえたんですが、計算したんですけど。
0:26:24	ちょっとその観測、実測値のですね、少し違和感がある部分がありましたので、今回はそういうところは正確に、その維持管理指針に従った補正係数を考慮して、
0:26:36	計算した、そういうものでございます。
0:26:39	よろしいでしょうか。
0:26:43	殿カトウですご説明いただきありがとうございます。
0:26:47	のため確認となりますけれど今利差が間違っていましたというお話なんですけれどこれ参照先として書いてあるものが違っていたというだけで意識自体は正しいという認識で合ってますでしょうか。
0:27:01	兵頭川名層です行い 1.7 倍のケースとかですねその辺は薄井自主管理指針に書かれてそのままでございますので、リファアーがちょっと適切じゃなかったということでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:14	町の加藤です。
0:27:17	そうしましたら今ご説明いただいたような内容ですね例えばこういうような評価式をありまして、仕上げの塗装を考慮するとこういうような値になるので、最終的に、
0:27:31	25 ページのような値になりますだとかそういった計算、前回計算いただいた内容の説明を、差し支えなければ、介護資料の参考とか、
0:27:43	ですね先ほど保安規定の、
0:27:45	方も参考に入れていただけませんかということありましたけど、と同じように参考に入れていただきたいと考えていましてそういったことってできますでしょうか。
0:27:55	はい。京都大学のカメラでございます。了解しました。
0:27:58	参考ということで今の説明した内容を簡単に記載したものを作りたいと思います以上です。
0:28:06	Headの加藤です。ありがとうございます。知事の加藤です。ごめんなさい。ちょっと今のところちょっと補足なんですけれど、うちが等を求めている内容としては、
0:28:16	具体的に 15 ページ目の推定値にたどり着くまでの情報がすべてちょっと入れて欲しいということなので、ただ具体的に言うのですね、この木下李の式が、
0:28:30	その中に今回の
0:28:35	確認施設と身体遮へのパーい、塗装があるとかモルタルがあるとかにおいてどういうケースを使って、ここに、25 ページに書かれている、推定値っていうのが導き出されるか。
0:28:50	その情報から、をすべてちょっと参考の方に入れて、うちの方でも計算すればこれらの値っていうのがですね、算出できるぐらいのレベルで、その参考の中に入れてもらいたいと思うんですけれど。
0:29:04	それは対応可能ですか。
0:29:07	はい兵藤武川でございます。今の表、技術評価の中にも、その式とかですね、その補正係数が入ったからあれが違うのは、塗装を鉄道がなしとしてやったということで 1.0 にしてましたけど、
0:29:23	それを現実の統制有井モルタルプラス塗装ありというような、その議事基準の中に書いてあるテーブルをリファーをしたので、そのケースをそこ、そこを変えたというだけでございますので、具体的な数字も、その参考資料の中に入れることができますし、
0:29:38	そういう説明をしたいと思います。わかりました。ありがとうございます。
0:29:45	成長のカトウです。
0:29:47	続きまして次ページになるんですけれど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:55	今回ご説明の中で 24 ページから 25 ページにかけまして、例えば 24 ページ原子炉格納施設の方の説明の中で、
0:30:05	推定値は実測値と比較して保守的であり、というような文言が出てくるかと思うんですけれど。
0:30:12	その 25 ページの表を見ますと、推定値と実測値を比べますと、平均を見比べたときっていうのは図書館しか回っている一方で、災害時見てみますと、推定値、
0:30:25	あと帰り、
0:30:27	推定値の他、
0:30:29	実測値の方が推定値を上回っているところがあるように見えます。特に 1999 年の推定値っていうのが 23.6mm になっている一方で実測値っていうのが、
0:30:42	大きい方見ますと 32mm 止まっています、
0:30:46	大分大きいように見えまして、
0:30:50	あまり保守的になってないような印象を受けるんですけれど。
0:30:55	こちらはどういうふうにお考えでしょうか。表題のカマエでございますけど、確かにこれ、どう考えるかだけだと思うんですけども、これ数、これ平均値っちゃうのはある、ある程度の意味を持つと思うんだと思うんですけど。
0:31:09	それで、ここは一応平均値で議論してそういう議論なんですけど、例えば当然その中には今、これ、これが事実とすると 32 とかですね。
0:31:19	前の 2019 年も、31 で少し大きいんですけども、この最大値で議論することも当然できるんですけども、一般には平均値ってよくこれ平均歩みを持つもんだと思うんですけど、ちょっとそこ。
0:31:33	その部分は我々の考えというこういう、また澤データを扱う差はないんですけどデータをを使うときは一応一つは平均値というもので議論するというのもいいのかなというのでやったんですけど。
0:31:46	保守的であると限定してしまうと今のようなことをご指摘されるので、少しその言葉は少しトーンダウンでないんですけども、少しそこを形容詞をつけながら少し文言を変え、
0:32:02	たいと思います。
0:32:03	それでよろしいでしょうか。
0:32:08	町のカトウですちょっと事実関係確認したいんですけど。
0:32:15	前回のご説明の中で、
0:32:20	コア抜き等ハツリをもらっていますということと、あとコア抜きのキーワ薄く色ついたところについても見てますっていうようなお話あったか
0:32:31	思いますけれど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:33	うん。前回もちょっとお伺いしたかと思うんですけど、測定方法を見て、コア抜きとハツリで同じ測定方法を行っているのでしょうか。
0:32:44	広川でございますこれも前回、コメントいただいてですね、必須にはですね同じようにそういう歩きのをテスト等ハツリということも、両方記載されてまして。
0:32:59	それぞれの手順が書いてあってその通りに今回もやってるわけですけど。
0:33:03	これちょっと私ハツリはすべて小さくて、コアはすべて大きいというふうになんかちょっとお話ししたような気がしますけど、ちょっと少し一つ見落としてまして。
0:33:17	1回、1900。
0:33:19	最初の年ですねそこにはちょっと大きい方にもハツリがあつたりしてですね、全くすべてハツリが小さくて、この3年間の調査の中でですねというのはそこはちょっと訂正をさせていただきます只野。
0:33:31	全体的には後発電の方が小さくて、後半の方が大きいと、これで一応ジツウにですねそういう方法はいろいろ書いてあります測定方法がですね、その中で、公園についてはですねこれ圧縮試験をしますので、
0:33:45	まずこれコア抜いたら、そういう公的な試験料に持って行ってそこで圧縮試験をします。当然そのあとですね、全く試験体をつぶしてしまわなくて、
0:33:56	最大強度が出れば、そのまま残して、それを終わりにして、フェノールフタレインをかけて、いろんな変色を見ると。
0:34:06	そういうふうにして評価をしています。これは整理の方はですね、当然これはつってあと3日の4日間おいとくもあれなのですぐ出向してありますので、
0:34:18	当然鉄筋が出てますから、なるべく早くということで中性化層構造、中性化の測定した後、肅々とその補修をしますということで、
0:34:31	このボリュームが古田連をかけてからですねこれ、事実にはですね安定。
0:34:37	安定という言葉が出てまして、それがどういう時間を指すのか全く書いてなくてですね、非常にそこで切るような話なんですけど、そういう意味では、
0:34:46	コアの方はですね少し時間を、いやこんなをさらにかけたら時間少し経つてると。
0:34:52	それで末尾の方はそうではないっていうところがちょっと違ってる。それが率にした場合は適切なのかっていうことは、宗石神の家がなくてですね、先ほど言いましたように別にハツリだけがすべて実は小さいわけではないということも、
0:35:06	今回訂正させてもらいましたけど、そういう意味では実際に従ってやっていますので、そういうコアみたいなのは両者がしっかりと見れるものと、
0:35:18	ハツリということで取ってすぐ色があれば見るという、そこが少し違いが出てる可能性もゼロではないんですけども、これは全く、
0:35:29	必ずそのあたりの場合が小さいのであれば、その可能性もあつたんですけどちょっとそういうデータだけではなかったということもちょっと確認できたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:37	その辺の測定の違い、時間の違いによって何かあるということはいえるかもしれませんが。
0:35:43	ちょっとそこは 100%、それが小さくなってる原因だというふうにはないんですけども、多分場所ごとの方の、
0:35:51	場所ごとによる違いの方が大きい可能性が高いと思いますけど、リース関係がいくとそういうことだということがその後の調査でわかりました。以上です。
0:36:06	城野カトウですちょっと細かい点お尋ねしたいんですけど。
0:36:12	回数の方で、コア抜きやって圧縮試験やるバーいだとか、
0:36:19	今のお話で時間があくってようなお話あったかと思うんですけどそういった場合は表面の中性化を防ぐために保護するとかそういったものもあったかと思うんですけどそういったことってやられてましたでしょうか。
0:36:33	当然これ保安については圧縮試験もその中性化もその公的機関でやるので、当然それはそういう用意をしながらとか当然コンタミというか、
0:36:43	その削ったやつがですね、そこに表面触れないようにとかですねそういう表示をした上で、当然そういう試験をしていると。これ当然工程期間等もお示しをいただいていますので当然そこは、
0:36:56	しっかりと実に従ってやっていただいているというふうには支援でございますけども、以上です。
0:37:02	規制庁の後でそうなりますと薄く色づいたところにつきましても測定値存在していて写真も撮られてるっていう理解でありますか。
0:37:13	はい。京大の鎌田です。当然写真があって、上をし、私が見ても、少し赤くはなってるんですけど、少し赤みから少し浦崎がかかるような、ちょっとコントラストとかですね、本当にクリエーションで、
0:37:28	突然変わるわけじゃなくて、というのでそこは読み方、これ公的な試験場で呼んでますので、JISにもそういうところを見なさいと書いてあるので、それはしっかりと、そういうところ。
0:37:40	を読んでもということでございます。
0:37:45	田野カトウですありがとうございます。
0:37:49	先ほどの質問の趣旨なんですけれど、
0:37:54	25 ページですね、資料 1-2 の 25 ページだけを見ても、実測値、
0:38:04	が確かにばらついているっていうのはあるんですけど、それに比べて推定値の方が、
0:38:10	小さく見えてしまっていて、あまり保守的なように見えませんので、先ほどお話し少しさされていたかと思えますけれども、
0:38:22	はい。については大丈夫だろうっていうのは、確かに

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:27	そうなるかもしれないんですけども少しちょっと説明の仕方を考えていただきましてそれで文言とかも修正していただきたいと考えていますけれどもよろしいでしょうか。
0:38:47	すいません京大のカマエです。ちょっとどういうこれ以上の説明というのはもうこれ一応ばらついててこういうものが平均ということで最大値が超えてるということなんで、
0:38:58	これは逆に言えばその最大値、
0:39:00	これ例えばルートT法ですね。
0:39:03	先ほどCEOの方はルートTを使ってるんでここは殊、今の状態でも、少なくとも推定値が上回ってるということで、
0:39:13	ルートTは使ってはいないんですけども、これ最大値を使ったルートTということもあり得るわけでそうすると当然これ、1999年の危険ですから、そこが二、三十人を最大に取ればですね。
0:39:27	30人からずっとこう増えていって、それが68に行かなければ最悪が58+20何でということで、そっちの方が説明透明性としてあるのであれば、
0:39:38	そうしてもらいますけどそれ以上の説明ってなかなか、どういうふうにすればいいのか、一応今の測定方法もですねそういう、今お話したことがです、技術なので、
0:39:49	は、ちょっと今加藤さんおっしゃったのはそういう方法というのは見当たらないので、もう最悪はこの最大値を使ってやるというのが一番、一番この、
0:40:01	説明、根本から言ってもですね。
0:40:05	というふうに思うんですけども、それ駄目でしょうか。
0:40:11	光岡長です。ですね、これはうちが指示すべきことではないと思っております、今とりあえずここに書かれている、うちの各社の方からの引き継ぎは24ページ目の、
0:40:26	推定値は実測値と比較して保守的であるというふうになっている系統が記載されている事例と、25ページ後のデータを見るとそう思っていないというのが指摘なんです。
0:40:39	それと、教材としてはどのように考えるかだと思うんです。一つとしても、確かに金井先生が言われるようにですね、平均値で我々が平均値で考えているんだと。
0:40:52	その考えによって一括する場合は、これらが推計値っていうのは実測値に対して保守的思っているっていうのがわかりますけど、仮にを考えていくのであれば、平均値でやるんだっていうのを明確になるように記載して欲しいと。それで、
0:41:09	平均値で約最大値でやるんだっていうことであれば最大値でやるっていうのもありますし、あとですね、研りと5のデータを分けて考えるっていうのもあるんだと思っ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ています。ちょっとはつきりの方が正確なのか、この方が正確なのかというところは議論を、
0:41:29	こういうところではあるかもしれないんですけど、そこは今日、京都大学の方ですね、
0:41:34	どのような説明にして、どのように説明をするのか、そこはちょっと検討していただきたいと思うんですけど、いかがですか。
0:41:43	ちょっと仲間でございます。先ほど少し冒頭で申し上げたやっぱり保守的だという言葉がですね確かにこの表を見ると、特にそこは何も書かずにただ保守的だっただけしか書いてないので、これ平均的に見れば保守的だっという、
0:41:58	ことは正しいんだと思うんですけど。そういう書き方をするか、これ、
0:42:04	アプリとコアを分ける。
0:42:07	言うまでもゼロではありません。今回、今日訂正したみたいで、ファツリーの場合でもこれ、実は 99 年の 32. は多分ハツリだったと思います。
0:42:17	そういう意味ではただ、09 年がですねこれハツリしかやってなかったもんですからそれを、そういう小さな値なんですけど、もうそれを掛けてんかい回転は同じような記載に、多分、
0:42:31	2019 年だけが例えば服部の場合が進みで、コアが 31 歳ですから、要はその 20 とかさから 30 とかですねそんな形に、
0:42:45	ビジネスにあげられることは事実だと思うんですけども、そこから何がいられるか。
0:42:50	いう話になると、なかなかこれ、場所のことも当然あるし、いろんなファクター関係するのでデータもそんな何十何百であるわけじゃないので、進むこの世界なのでですね。
0:43:05	なかなか、本当はこれ平均値もその意味があるかと言われれば非常に当然標準偏差も取れませんし、なかなか難しいんですが、こういった中性化っていうのはやはりどんどん補修するとなったら今後のポートがなくなる、COCOコードのところでも中性が仮想。
0:43:21	見直してるので、調整からすれば強度がなくなるというふうに多分、そういう誤解されてないと思うんですけども、最終的な、はい、室次長は主任という 1 件の、
0:43:31	今交付がですねまずそのやられてそれから水が入ったりして、定期が食べていくという、そういう過程で鉄筋コンクリート製としての強度がなくなるということなので、
0:43:41	中性化を立ててですね、曰んすべてが、強度がなくなるわけじゃないので、ここ非常に修正があって私は廣瀬さんと議論するんですけど、同じ中ですね調整を図っても、やっぱり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:57	かなり違う場合があると、なかなかこれ、なぜかっていうのはですね、これは国で作った時からの、
0:44:04	始まってますから、当然、それでその途中の関係もありますけど、もう作った時の、時からの、場所ごとの違いというのも出るじゃないと思うので。うん。なかなかこのばらつきがこれがあるのかどうかっていう、これからも、
0:44:20	ういう、そのデータとか見れば多分構造がばらついてるんだと思うんですけども、ほぼちょっとそれはまだちょっとサーベイできてませんけど、今回相当でもですねかなりばらつくんですよね。市長始めていいですかちょっと、当然今それらのことを言われても、すぐ値が
0:44:40	多分何も答えようがなくて、私がさっき言ったのがどのような考えに基づいて評価を説明するのかっていうところなので、そこについてですねこういう考えでやっていきます平均値だったら平均値でもいいですし、
0:44:54	その最大値でやるんだったら最大値でもいいですし、先ほども言いましたが、ハツリ当行あいうえおあけ分けて、等を考え方を整理して、どちらかのデータを使って説明する。
0:45:06	加藤小の方も言うておりますが、評価結果についてはですね、うちは特に問題あるとは思っていないんですね。
0:45:14	単に評価、評価をするにあたっての考え方をきちんと整理して説明してくださいというところがうちのコメントなので、そこをちょっと整理して説明の方をよろしく願いいたします。
0:45:26	はい京大の釜井ですわかりましたこちらで考えをまとめて、説明するようにします。お願いします。
0:45:36	清町の加藤です。今の議連議論にちょっと関係するんですけど、今回コア抜きとハツリ行っていて定数、複数点で取られているということですので、
0:45:50	具体的にどういうところ。
0:45:53	ハツリだとかコア抜きをやって、その結果としてこういう値になりましたっていう一覧表、先ほど、そんなに点数は多くないということでしたので、
0:46:04	そちらも参考につけていただくことってできますでしょうか。
0:46:09	はい。京大のカマエです1年で大体四、五、主要箇所ぐらいですから、壁、円筒部の壁、当間とKRの市川橋田がちょっと入ってますので、柱。
0:46:22	ほとんど壁ですけども、周囲の円筒の壁ですけど、当然それは給料が残ってますので円筒平気です何ヶ所かベリーか柱で1ヶ所。
0:46:32	2ヶ所って、そういう整理ができます。
0:46:36	それ、それが何か、わかりました。
0:46:39	付けます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:41	清町の加藤ですよろしくお願いたします。
0:46:49	浮きました。
0:46:52	会合のときに、指摘としてあったかと思えますけれど、
0:46:59	屋根についてですね。
0:47:05	屋根が、コンクリートの厚さが薄くなっていて、会館の確認はしているというお話だったんですけど。
0:47:14	こちらにつきましても、健全性、
0:47:18	評価をお願いしたいと考えています、
0:47:23	例えば先ほどの石谷っていう、
0:47:26	もう現実に即した形で使用して、
0:47:30	中性化の進展予測を、
0:47:33	場合に、かぶり厚さに対してこのくらい余裕があるだとか、そういったこと、きちんと屋根についても健全性が担保されています。
0:47:42	評価をお願いしたいと考えていますけれど。
0:47:46	どうでしょうか。
0:47:48	はい。京大のカマエですこれ前回もそうですしコメントもいただいたのでその当時にもお話ししましたが屋根についてはですね、先ほど岡部とか橋田出野のようにですね。
0:48:01	非破壊検査、破壊ですけども、保安イタリー発注対応してません。ひび割れについては高額については、当然見て、有意なものがないということを確認してますけども。
0:48:14	それで、当然そういう意味で評価はできますけども実測はないということで、評価についてはこれとても建物中ですから真壁も屋根も我々として同じ日、環境が同じということでほぼ、
0:48:27	推定値は同じだと、これかぶりがですね、下部についてはこれ、はつつたりせませんので設計ベースですね、浅川渡鉄筋の廃棄物がありますので、当然かぶりは当然これぐらい。
0:48:40	いうのはその設計図から読み取れますので、カブリについてはこれちなみに今も調べたんですけど、うん。下部については屋根については薄いところで40、47mmありますが、設計上はですね。
0:48:55	うん。はい。ですからそういう意味でこの評価よりも大きいので、屋根についても問題ないと思います。それはここに屋根についてのかぶり厚さのところだけは追加をしようと思ってます。
0:49:08	規制庁の加藤ですよろしくお願いたします。ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:12	会合の場でもいろいろな形にされていて質問を飛んでいった場所ですので明確にするという観点からお願いできればと思います。
0:49:29	続きまして、
0:49:31	中性化につきましては以上と。
0:49:37	すいません。ちょっと
0:49:41	今、JRの方のお話していたんですけど、NTAの方につきましても同じように、
0:49:50	推定値と、
0:49:53	等、
0:49:55	資料 1-3 の 22 ページですね、下の表の中で、白根式とあと今回ルートT資金。
0:50:01	を追加していただいているんですけど。
0:50:05	最終的に、やはり実測値見ますとばらつきがあるということ。
0:50:10	先ほどのお話で理解はできているんですけどやはりちょっと大きめかなっていうふうな印象がありますので、
0:50:21	やり方がうちが否定するものではないんですけど先ほどのご説明の通り、
0:50:27	平均値を使って比較すると、こういうふうになるので大丈夫ですかとか、そういったことを少し、もう少し明確になるように修正をお願い。
0:50:39	KURの同じになります。
0:50:42	はい。評価の方です。資料に反映させますけども、今すぐ先生しときますけど加藤さんからもいろいろと
0:50:50	言われましたので、ちょっとここはですねまず記載としては、平均値的には保守的だということですねちなみに最大値をとってもですね、カブリよりも小さいというような、そういうことでちょっと。
0:51:04	文章として、文章もそうですし兵庫ですね、今日の方もこれ、ルートT式しかここ書いておりません。それで、この最大値は、平均を取った時のルート形式なので、
0:51:16	これ例えば最大値をとった時にはこうだということもですねちょっと参考までにですねこれ参考資料でいいと謳われた平均値だと思っているので、参考し参考書の方にですね資料の方にですね。
0:51:30	経営RPCもうこの最大値をとった場合のルートという意識がどうかっていう、それでもかぶり位最悪カブリ+20mmというあれがありますので、それでも大丈夫だということを、量を施設とも、
0:51:45	同じような形でまとめたいと思います。以上です。
0:51:50	どうもカトウですありがとうございます。
0:51:57	続きましてとなりますがこちらは事実関係の確認になるんですけど、今回長期施設管理方針としてKURの炉心タンクの田野町ん。
0:52:11	通過するというので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:18	資料で、最後のページですね。
0:52:23	28 ページのところ、直近に行った調査から 10 年を超えない期間中に町持ちと調査の実施計画を策定するっていうふうに、
0:52:33	あるんですけど。
0:52:35	今回確か 2022 年に行っているかと思うんですけど。
0:52:41	KURの廃止。
0:52:43	までに、こちらでやれるようなご予定なんでしょうか。何かもしシンリュウよりは要するに、2 年ほどで運転停止するのかそれともきちんと排出廃止措置やるまでやるのか。
0:52:57	京都大学の堀でございます廃止措置をやるまでですね、差し支えなければですねお話できるのであればということで、お聞かせいただければと思います。
0:53:09	はい。京都大学の方でございます。現実的には廃止措置に入るまでにですね、この調査を行うということは、
0:53:19	現実的には考えております。ただし今はまだ廃止措置を行うというのが、要するに、廃止措置実施計画の申請を行ってませんので、
0:53:30	第 1 を 10 年、動かせるということをお示するのがこの趣旨だと思いますので、そういった前提条件例えばこういった調査を 10 年以内にやる必要があると。
0:53:40	そういう 10 年以内にやるという計画は立てますけれども、実際廃止措置計画の前にやるということは、
0:53:46	ないと思います。
0:53:48	いつもカトウですごめんなさい、1 件ちょっと明確に教えて欲しいのかあと 2 年後に、運転を停止します。
0:53:57	まずその珪質までに、超音波測定を実施するっていうこともあり得るっていうふうに考えていいんですかそれとも、やっぱその最中は超音波測定やらずに、
0:54:09	運転を停止してから、廃止措置計画を出すまでの間にやるのかどちらかになるのかなと思いますが、どちらになります。
0:54:21	教諭の堀でございますそのどちらでもないと考えてまして要するに今から 10 年間運転すると。
0:54:30	何、そういうことであれば、20 年以内にこういったことをしなければならぬと今そういう前提条件でしかお話できないと思ってましたので、こういう長期施設管理方針を立てております。ただ 2 年後には実際廃止措置実施計画を出しますので、
0:54:45	そうそうなりますと、今のいわゆる長期施設管理方針というものはもうそもそも運転をしないということで、リセットされるというふうに認識しておるんですが、ですから石井医長ちょっといいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:59	ちょっと。はい。建前上のことをちょっと聞いているのではなくって。はい。はい。実際今いつやる計画なんですかっていうところを聞いてるんです。それは、
0:55:12	はい。
0:55:15	ですから池計画は10年後という計画になりますけども、ただ実際はAI措置側から考える前も、搬送時は計画に入ればもう当然そういうの必要だと思いますので、実際はやらないことになるかと。
0:55:31	なるほど。じゃあね、今はちょっとこれ長期施設管理方針を立てているので住民の間でやるべきことを書いて、今おっしゃる通りです。はい。つまり付けとしてはそういうことです。はい。別のデータ分をお借り2。
0:55:48	10年間運転を継続している状況であれば注文後目安にあります。そうです。佐藤です。ですがおそらく、その間に廃止措置計画の申請をし、それが認可されそういう。
0:56:04	炉の何ていうんすかね。状況で廃止措置の段階に入るので、そういう段階に入ったとしたら、行わない場合もあるよっていう理解でいいんですかね。
0:56:21	はい。ご指摘の通りでございます。竹森です。
0:56:33	当間カトウですありがとうございます。
0:56:38	続いてなんですけれど、
0:56:45	営業ある。
0:56:47	ほうの資料の中で、
0:56:54	例えば4ページとかになりますけれど、こちらだけ見ますと、コンクリートの、
0:57:02	駄目。
0:57:04	原子炉格納施設の外側が、
0:57:08	一般
0:57:10	たりだとかあと内側の仕上げがこうなっているだとか、そういったことっていうのが、こちらの図面からっていうのは、ちょっとわからないようになっていまして、
0:57:22	差し支えなければ、可能であればなんですけれど、開校資料でこちらも参考資料として、JRの全体構造ということで、
0:57:34	施設のストッカー鉄板で時間はコンクリートの上に仕上げ材が施されているだとか、ペイントだとか、
0:57:45	今回の経年劣化評価で考慮しているような条件がわかるようなちょっと図面みたいなものを入れていただきたいと考えていますけれども、可能でしょうか。
0:57:56	京都大学の堀でございます。承知いたしました。そうしましたら参考としてこの全体構造の図を再掲してそこにちょっと追加説明として今のようなことを入れるということで、承知いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:09	規制庁のカトウで、ちょっと補足ですけど、例えば図面上こういうふうになってるなってよっていうのはもちろん示していただくことにはなりますが、例えばその図面で載っている、仮に仕上げ材のこととかが載っていたとしてですね。
0:58:27	ですが要するに中性化の評価とかをやっている間で、評価の途中で仕上げ材をやったとかっていうところもあったらですね。
0:58:38	その仕上げ材が、一番最初、建設当初から入っている五名のか、いつ頃から施工をやったのかっていうのも、あわせて情報として入れていただけると助かりますので、よろしくお願いします。
0:58:54	京都大学の堀ですKURについては建設当初からということになりますがそういったことも記載するというので、承知いたしました。はい。よろしくお願いします。
0:59:05	長カトウですちょっと同じような内容になるんですけど今回PDA設備に追加していただきましたので、
0:59:13	こちらの図面も可能であれば、最後の参考資料ですねこういったものですねっていうのをちょっと入れていただきたいと思いますと考えています。
0:59:24	所長代理の方にです取水設備と40トン水タンクの概略図を入れるということでございます。こういったものということでちょっと入れていただければと思っています。
0:59:36	京都大学の方でございます例えば取水設備なんかは写真の方がわかりやすいかなとは思いますが、いかがでしょうか写真では、
0:59:44	規制庁の加藤です。ですね、松田分、例えば建屋の断面図とかがあつて水設備っていうのがどういうところにどのようについているかっていうのを示してもらおう。
1:00:00	植えて、例えばその止水設備っていうのは今堀先生言われたようにこういうものですねっていうのを写真を載せるなどですね、まずちょっと具体的にどういう配置にあるものなのか。
1:00:14	それとその対象のものが、実際具体的にどういうものなのか。
1:00:19	そこを写真でもいいですし、本資料でもいいですし、そこはちょっとやり方が、任せますが、それらを示してもらいたいという趣旨ですのでよろしくお願いします。
1:00:31	京都大学の方でございますそしたら4ページにあるような感じですかね図、図面でどう、どう、その矢印で裾野どこにあるかわかるようにして、写真なりポンチ絵なりを載せると、そういうことですね廃止しました。
1:00:51	イトウのカトウです。続きまして資料1-1にちょっと戻るんですけどこれは事実確認だけなんですけれど。
1:01:00	ぜひ、
1:01:02	言えます。6ページ。
1:01:05	なりまして、
1:01:10	今回の品質マネジメント体制。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:14	ホームを追加していただいたということで、
1:01:18	基本的にはその経年劣化に関する評価の実施体制と品質マネジメント体制っていうのが、保安規定に載っている体制と、同じで一致する。
1:01:28	という考えでよろしいでしょうか。
1:01:32	京都大学の堀です。その通りでございます。
1:01:36	規制庁の加藤です。ありがとうございます。それと関連文章についてなんですけれど。
1:01:45	原子炉施設の保安規定は、これは入ってるの、当然かなっていうものなので、ちょっと削除していただくことができますでしょうか。
1:01:56	調査役の堀でございます削除する。承知いたしました。
1:02:02	その上でなんですけれど、今回施設定期評価の実施計画、
1:02:08	上の入れていただいてこれが関連文書だということなんですけれどこの並びになりますと経年劣化技術評価の実施計画、
1:02:17	というのが保安規定の中にあるかと思うんですけれどそちらではいらないんでしょうか。
1:02:26	京都大学の堀でございます。実務と施設定期評価実施計画の中にそれ両方を兼ね合わせたものだということがしょっちゅう記載されてるんで文書名としてはこの一つになります。
1:02:40	わかりました。ありがとうございます。
1:02:49	すみません、また資料 1-2 に戻っていただきまして、
1:02:57	こちらにもここになりますけれど、23 ページのところですね。
1:03:05	今回安全機能の方を追加していただいたところなんですけれど。
1:03:11	こちらに記載されています、コンクリートだとかあと外壁の鉄板だとかの専門、
1:03:20	詰め点検
1:03:21	については、全体的にみてるっていう理解で合ってますでしょうか。
1:03:33	多分そのアルカリ骨材反応。
1:03:35	どっかっていうのは、特にコンクリートのこの部分で起きるっていうようなものではないと思いますので、コンクリートの前面を見ているのかなって思うんですけれど。
1:03:46	京都大学の方でございます前面を見ているということで、間違いございません。
1:03:53	規制庁のカトウですありがとうございます。そちらにつきましても差し支えなければ簡単に一言追記していただくことってできますでしょうか。
1:04:04	京都大学の堀です。承知いたしました。
1:04:09	ありがとうございます。
1:04:12	それからですね。
1:04:16	規制庁のカトウです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:18	6 ページ少し戻っていただきまして 20 ページのところでは中性子の照射脆化の方、参考文献、別のものになりましたということなんですけれど。
1:04:32	合計の方をいただくことってできますでしょうか。
1:04:37	ここ参考にしました。
1:04:39	京都大学の堀でございます文献については 20 ページの下に文献 1 というのが追加されてまして、
1:04:47	そのことですね。それを、
1:04:52	それをオープンするということでしょうか。はい。できますでしょうか。ヒアリングの後になりますけども送りいたします。議会のヒアリングの資料とかそういう形ですねちょっといただければと思います。
1:05:07	あと、すみません。規制庁の加藤です。あと、こちらも参考となりますけれど、
1:05:14	すみません。次、確認なんですけれど。
1:05:18	J-R資料 1-2 の 27 ページで、
1:05:21	今回確認したところ、温度上昇約 13°Cであったということなんですけれど、これって、
1:05:28	具体的に何炉になったんでしょうか。
1:05:33	京都大学の堀でございますこれは常温から山と上昇したかということなんで、常温プラス 13 度になったということになります。
1:05:43	支店長の加藤です。常温というのは、JA冷却水温度を、
1:05:48	もう 55 度が最高なのかなって思ってるんですけどそういうことではなくて、環境を考えたときに、
1:05:57	ということでしょうか。
1:06:01	2 年間を通してその時の気温プラス 13 度っていうような考え方でしょうか。
1:06:10	榎尾曾田ってください。
1:06:16	共同大学の山田でございますけれども、温度を見ているところはですね 1 と清大社系の一番炉心に近いところでありまして、その温度が 13 度上がるということでございます。
1:06:30	ですのでその温度幾らに評価するかということになります。そこんところはちょっとデータはありませんので、わからないんですが、もし仮に一次冷却水の温度と同じとすると最高でも 55 度ということになりますがそれプラス 13 度ということになります。はい。
1:06:49	室長の加藤です。生体遮へいでもまあまあ温度だよってということなんですけれど。
1:06:57	大体そうすると、KURのお腹のですね、室内の平均温度って大体どんぐらいになりますよね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:08	大体 25 度ぐらいゲインいろいろ回っておりますのではい。はい。それで、例えば運転中生体遮へいのところが、
1:07:18	運転してるからって温度上昇があるわけではないと思いますので、平均すれば大体 25 度ぐらい、つまりは、初期御寄与して 25 度ぐらいで、さらにこの 30 時間の評価を行うと。
1:07:34	これとプラス 13 度って考えればよろしいですかね。
1:07:38	はいそうですねはいそれでよろしいかと思えます。方式で見ると 55 度プラス 13 度ということになるかと思えます。はい。
1:07:47	長南カトウですありがとうございます。
1:07:51	私からは以上になりますけれども、ほかに規制庁側から何かありますでしょうか。
1:09:41	成長のことですいませんお待たせいたしました。規制庁側から他に何かございますでしょうか。
1:09:48	佐々委員事務的な確認なんだけど 1 点でありますか、主に確認することあれば、
1:09:54	違う。
1:09:56	KFCや、
1:09:57	すいません。規制庁の篠田です。すいません、KUCAの資料 1-3 の方について、いくつか事務的な確認だけさせていただきます。
1:10:07	あとですね、資料 1-3 の 19 ページなんですけれど、
1:10:12	ここの大きな物の二つ目が中性子照射脆化のところですね。
1:10:18	ここで一つのポツでこれまで経営支援、これまでの全運転による中性子照射量が保守的な評価をしても 5.19 ヶ月中の 13 乗オーダーっていう、
1:10:29	高級なんですけどこれはですね、多分軽視してる期間とかも含めた上で、あくまでショック保守的に計算されているから、
1:10:38	その次のポツですが、単純に 1.2 倍にしても、これは十分保守的な値ですよっていう、そういうことを言われてるんですよっていう、私の理解が正しいのかっていうのをまず確認させてください。
1:10:53	先ほど大学の喜多村でございます。こちらはですねこの 49 年間の運転の履歴っていうのが運転の
1:11:05	総出力っていうのはさ、
1:11:09	2 ページでございます 725.14 ワット。
1:11:13	ということでございます。これに基づいて計算した値ですんで、10 年を、これで 49 年間でそれで 720 何ワットですので、それを
1:11:27	我々と同じように、
1:11:31	ダイソーそして
1:11:34	するとこの辺りになるということですので、運転停止期間中も含め、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:39	第 49 年間で 1.5 倍と相手にないというふうにしているということでございます。
1:11:47	以上です。
1:11:50	そうなると思います、感覚的に言うと、例えば、向こう 10 年を、通常運用上考えられるフル。
1:11:58	で運用された場合、
1:12:00	単純に 1.2 倍とは違うような気もするんですけど、そこら辺はどんな感じなんですかね。
1:12:08	キタムラでございます。そうですねそうす。そうずっと運転した期間を、
1:12:19	外挿するということですね。それは評価できますんでそういうふうに変更するいう分子でもよろしいでしょうか改めたいと思うんですけども。
1:12:27	それも十分、十分全然大丈夫な値でありますので、よろしくお願ひしたいと思ひますので。はい。
1:12:34	49 年間ではなくて運転北年選定した年数を
1:12:40	ベースにするということですね承知いたしました。そのように変更させていただければと思ひます。
1:12:45	ありがとうございます。今言った通り、少し
1:12:49	わからないと思ひます。すいません。あともう 1 点なんですけど、ここの関係で、
1:12:55	スライドの 23 ページですね。
1:13:00	ここの健全性評価結果のポツのところ、二つ目のポツ税も同じように今後 10 年間における中性子照射量はっていうこと。
1:13:12	小高によってこちらと関さんで 6. 二、三百 10 の 13 条ってことが書かれてるんですけどこれはあれですかね。先ほどの 5.19 を多分 1.2 倍してこの数字っていう。
1:13:26	ことになったのかなと思ってるんですけどこれはそういう理解でよろしいでしょうか。
1:13:30	はい。東京大学の喜多村です。同じような評価をしましておりますので、こちらでも修正させていただきたいと思ひます。
1:13:38	わかりました。ありがとうございます。私からこの 2 点です。
1:13:44	規制庁の加藤です。ちょっと、
1:13:47	お願いなんですけれど、資料 1-1。
1:13:52	広井引地の 1 の P7 ページ目の評価フローなんですけれど、おそらく左っかわのフローもですね、前回のところカラー、結構変わっていると思ひます。
1:14:06	それで、資料 1-1 の 1 ページ目のところでは、9 月 21 日の審査会合資料からの変更点を赤字下線り記載っていうふうになってますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:17	評価フローを見直したところについてもですね、赤字透過性を入れて欲しいんですけど、対応できますか。
1:14:25	京都大学の堀です大変失礼いたしました。ちょっと忘れておりましたが、フローの中の部分のところすべてを赤字にして、課制を入れるとそういったイメージでよろしいでしょうか。
1:14:39	刀禰、私のイメージはそうじゃなくて、例えば最終多分ダイヤモンドが条件になったりとか、あとその下の部分とか、ごめんなさい。いや、上に、上のダイヤモンドのところとか、
1:14:52	BeyondDBA史跡とかっていうのが入ってるじゃないですか。はいはいはいそうです。ただ、一応変更したところであれば、そいつら下線になったり、それとか、あと何ですかね文言も種追加になったところだけで。
1:15:09	からそういうところがあるのであればそこに下線赤字下線をつけるとかですねとにかく前回から登録するんでそうそう。すみませんでしたそのように対応いたします。よろしくお願いいたします。
1:15:30	手帳のカトウです他に規制庁側から何かありますでしょうか。
1:15:42	よろしいでしょうか。
1:15:45	兄弟がわから何かありますでしょうか。
1:15:50	京都大学でございます。ホリでございます。特にございません。
1:15:56	特にないようでしたらこちらで、本日のヒアリング終了とさせていただきますと思います。
1:16:03	お忙しいところありがとうございました。
1:16:06	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。